



## 高取のくすりの歴史と資料館



平成 18 年4月9日、高取の「くすり資料館」が夢創館の蔵にオープンしました。この「くすり資料館」では、高取町で作られている薬や、昔の道具、器具、はかりなどと、売りに行く時使う柳ごうりや大袋、置き箱、置き薬の帳面などめずらしい物を展示しています。

高取の薬の歴史はたいへん古く、飛鳥時代の推古20年(612年)、推古天皇が聖徳太子や供を率いて高取の羽内の山野にて薬狩りを行ったと伝えられています。この地は豊かな自然に恵まれ、薬となる動植物類が豊富であったようです。またその頃に中国からも動物や植物を用いた薬の効き目や使い方が、伝わってきたので、それを参考にして効果のある秘伝の薬が作られ、それを修行で諸国を巡る山伏が持ち歩いて全国に広めたのが、大和高取の売薬の元になったそうです。

江戸時代には、高取城植村藩主が江戸参勤の際、他の藩主に薬を贈り全国の販路拡大に貢献しました。江戸時代の中ごろには、奉行に置き薬の許可をもらって全国各地に売りに行くようになりました。これが現代の配置販売の始まりです。明治になってからは、高取の狭い土地に合った薬種業が急速に発展し、薬を得意先に預け置き、次回訪問時に使用した分だけ代金をいただく「先用後利」という独特な方法で商売するようになりました。大正時代に高取薬業会が設立され、県の重要産業に指定されて、製薬業、配置販売業がどんどん成長を遂げました。昭和 27 年には、昭和天皇が高取町の製薬会社をご見学なさいました。町の皆さんはお迎えするのに大変な騒ぎだったそうです。

現在は、長年の経験を活かしながら薬の研究、開発に取り組んで優秀な薬を全国各地の皆さんのお家の常備薬としてお届けしています。

資料館開館…午前9時30分～午後4時30分（入場は4時まで）月曜日は休館です。

……見学希望の方は夢創館係員にお申し出ください。……

# 6/11(日) にぎわい市

まあいっぺい

どっくらい

来て見なはれ

おもろいか!

午前10時～午後3時 一土佐街並み

にぎわい市以外にもいろいろなお楽しみイベントが行われます。 その一部を紹介します。

### ○ 旧JA〔蔵〕

キトラ古墳の石室体感!! ……原寸大の石室復元模型ができました。中に入ることができます。またキトラ古墳について来村先生（奈良文化女子短期大学教授）の説明が聞けますのでそちらもお楽しみに! 《無料》

### ○ 夢創館

1階 ……みたらし団子・うどんの販売 盆栽展 くすり資料館

2階ギャラリー ……古川史男 油絵展～各地の城を訪ねて～ 《無料》